

(別紙)

平成21年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

【団体:38団体】

№	推薦者	名称等	主な功績
1	青森県	くまはらがわげんりゅうをまもるれんらくきょうぎかい 熊原川源流を守る連絡協議会	同会は、下流域の水道水源となっている馬淵川の源流である熊原川をきれいな川として後世に伝えようと平成14年4月に発足、本年度で7年目となる。空き缶等のポイ捨てごみや粗大ごみの不法投棄撤去などの清掃活動を、年2回以上実施したり、啓発活動として、環境美化に関するチラシを作成し、構成自治会の世帯に配布するなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。
2	岩手県	しもうちのじちかい 下内野自治会	同会は、平成元年に結成されて以来、魅力と活力に満ちた地域づくりを目的に活動を行ってきた。町内に日本大学の実習場があった縁により、日本大学生物資源科学部の河野英一教授を招き、地域内を流れる砂鉄川の水質保全を目的に「かじか」が棲めるような清流にしようとして「河川の石磨き」を平成6年から実施し、昨年で15回目を迎えた。参加者は、下内野自治会員、地元小中学生、日本大学の学生の他、多くの市民が参加し、水に親しみながら都市と農村の交流の場となっている。平成6年から現在まで継続して取り組み、水環境保全の意識の啓発に多大な貢献をしている。
3	秋田県	びわしみずのかい 琵琶清水の会	希少な生物であるトゲウオが生息する琵琶沼とその周辺のクリーンアップを、10年以上にわたって実施している。琵琶沼は、トミヨとイバラトミヨの2種類のトゲウオがそれぞれ雑種を生じないで混生しており、全国的にも数少ない両種の混生地として、平成10年3月に秋田県指定天然記念物「トミヨ及びイバラトミヨ生息地」に指定されている。同会の活動は、琵琶沼の文化財指定、地域のイメージアップに貢献を果たし、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
4	秋田県	さんないろくゆうかい 山内麓友会	昭和63年1月、地域のコミュニケーションを深めて楽しい村を築こうと、10名で発足した。集落が横手川の源流にあることから、川に清流を戻すため河川のクリーンアップ等を実施するとともに、溪流に建造されている砂防ダム12箇所の水辺空間と緑を活用した「遊水の里づくり」に取り組み、水辺環境の保全及び環境教育等の活動を続けており、水環境の保全に大きく貢献している。
5	福島県	おおせがわふれあいどおりじっこういいんかい 逢瀬川ふれあい通り実行委員会	郡山市の市街地を流れ、市民の憩いの場であった逢瀬川の水質が悪化し、この汚濁を何とか改善しようと立ち上げた市民団体であり、小学生から大人まで幅広い参加者で構成されている。年間を通じた河川の清掃、水質調査や水に親しむ活動は、次世代を担う子どもたちへ環境問題に対する「気づき」を促し「具体的行動」へと発展させており、地元町内会や河川愛護団体、行政機関、大学等と連携した幅広い活動を行い、水環境の実態等の把握に努めるなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。
6	福島県	こおりまちほたるぼぞんかい 桑折町蛍保存会	ホタルを保存することを目的として、地元の「産ヶ沢川」及び「阿武隈川」の清掃・美化に尽力している。また、地元の小中学生に、川の清流化や親しみを持つように勉強会を開催したり、多くの来客者に対して案内をしたり、川のすばらしさの周知活動などを通して、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
7	茨城県	うしくしかていはいすいじょうかすいしんきょうぎかい 牛久市家庭排水浄化推進協議会	昭和58年、河川などの水質浄化を図るため、家庭排水の適正処理を推進することを目的として設立された。各種イベントやスーパー店頭での水質浄化キャンペーン、廃食用油回収事業などを継続的に実施。これらの事業を通して、河川・湖沼の水質浄化を呼びかけるなど、地域に根ざした活動を展開している。また、平成19年度に策定された「牛久市バイオマスタウン構想」に基づき、市が行う廃食用油のバイオディーゼル燃料化事業に、集めた廃食用油を原材料として提供するなど、地域循環型社会の一役を担うなど、水環境保全に関する普及啓発及び地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
8	栃木県	ほりごめ(きくかわ)ちょうかい 堀米(菊川)町会	平成4年度から16年間にわたって河川清掃活動を実施し、菊沢川の環境保全に貢献してきた。また、菊沢川では、栃木県版レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類のコウホネが、現在でも絶滅せず植生しており、町会の保全活動が地域の水環境保全に大きく貢献している。今後も、町会全体による道路・河川愛護活動、河川清掃などを継続することとしている。
9	群馬県	つきよのほたるをまもるかい 月夜野ホタルを守る会	同会は昭和58年に設立され、ホタル生息地の整備・カワナナの放流・生息調査などの活動を通じて、ホタルの棲みよい水環境を保全し、郷土をホタルの里に再現するための運動を実践している。このような取り組みの結果、北関東随一のホタル観賞地として観光資源となり、子供たちの自然環境教育の場にもなるなど、地域の水環境の保全に貢献している。
10	群馬県	かぼうしがわをきれいにするかい 加法師川をきれいにする会	平成7年、加法師川流域の行政区を中心に「動植物と共存でき、住民に親まれる川づくり」という目標を掲げて発足。家庭排水等の流入やごみのポイ捨てなどにより水質や景観の悪化が懸念されている加法師川を、岸辺に花が咲き、水生植物やメダカが生息し、みんなに親まれる川にするため、毎年、春と秋の2回、300人から500人程の地域住民が参加して、河川の清掃や河川沿いの花壇への草花の植栽を続けるなど、地域の水環境保全に多大な貢献をしている。
11	埼玉県	あらかわゆめくらぶ 荒川夢クラブ	平成13年度以来、川口市を流れる荒川、芝川、堅川などを中心に多様な環境学習を展開し、多くの子ども・若者・大人に、それぞれの年齢に応じた「学ぶ機会」、「水辺に親しむ機会」を提供した。また、「彩の国水すましクラブ」関連事業をはじめ、行政と団体との協働事業に積極的に関与し、市民と行政の橋渡しをするなど、地域の水環境保全に大きく貢献している。
12	埼玉県	こうのすのかんきょうをかんがえるかい 鴻巣の環境を考える会	平成5年頃から、地域で川の再生を含む環境保全活動を、自治会等とおして実施し、平成17年10月に同会を設立。約15年にわたって美化活動などを通じ、地域における水環境保全活動に多大な貢献をした。また、埼玉県が鴻巣市の元荒川中流域で実施した地域総ぐるみの生活排水対策に参加し主導的役割を果たすなど、行政が行う啓発事業に大きく貢献した。
13	千葉県	ふじがわにせいらゆうをとりのもどすかい 富士川に清流を取り戻す会	富士川水域の清掃活動、子どもの自然体験学習会の開催、稚魚放流会の実施、環境講座の実施及び会報の発行等の活動を実施し、市民の河川愛護意識の高揚に大きく貢献するとともに、水環境の保全に大きく貢献している。
14	東京都	しもひらいみずべのがっこううんえいいんかい 下平井水辺の楽校運営委員会	平成13年1月の発足以来、地域の小学生等による定期的なごみ拾いや水質調査、魚や水生生物の調査・観察、さらには、清掃後の干潟での遊びなどを通じ、水環境の保全、水環境に関する意識の向上等に大いに貢献している。
15	新潟県	おおいし・やまとかわにしたしむかい 大石・山と川に親しむ会	平成16年3月に設立されて以来、地域の資源を活用した「地域を知ってもらう活動」を通じて、より多くの人たちに訪れてもらう事により、地域内外の交流が盛んになり、活気ある村づくりが行われることを目標として、自然環境を利用した活動を実施している。大石川の美化運動(河川の除草、清掃、花植え)を通じて、地域の川への関心を高め、訪れる人たちに安らぎを与える空間づくりの活動を継続するとともに、啓発看板を作成・設置し、水環境保全の普及啓発に努めるなど、地域の水環境保全に大きく貢献している。

№	推薦者	名称等	主な功績
16	富山県	いしくらまちえんめいじぞうそんほうさんかい 石倉町延命地蔵尊奉賛会	富山市市街地を貫いたち川の川べりには、水にまつわる地蔵尊や寺社が多く存在し、古くから霊水とあがめられる清水が数箇所ある。特に、「石倉町の延命地蔵の水」は、「万病に効く霊水」として知られ、この名水を保全するため当奉賛会が積極的な活動を展開してきた。 ・お地蔵様や御堂の管理、水汲み場の清掃などの保全活動を毎日実施しているほか、周辺住民も清掃を行い、貴重な水環境が今も変わることなく保存されており、地域における水環境の保全に大きく貢献している。 ・地蔵尊の成り立ちや名水の霊験、大切さを紹介するパンフレットやチラシを作成して、水環境の保全に係る啓発活動に努めている。
17	富山県	うおづしりつにしふせしょうがっこう 魚津市立西布施小学校	「ホタルが飛び交う学び舎づくり」を合言葉に、主に4年生が中心となってホタルの飼育などによる環境教育を継続して実施している。 ・年1～2回の「ほたる川」の清掃やカワニナの放流のほか、水生生物調査を行うなど、水辺の環境保全活動や水を活用した環境教育を実施している。 ・「ほたる川」においてホタルの成虫を採集し、産卵、幼虫の飼育から翌年の放流まで、児童1人ひとりが個別の水槽で生態観察を実施している。 ・一年をとおした観察、調査による結果は、児童によって取りまとめられ、毎年の学内での学習報告や外部に向けた研究発表を行うなど、積極的な活動を実施している。 このような活動により、水環境の保全に大きく貢献している。
18	石川県	やりみずかんのんれいすいどうほぞんかい 遣水観音霊水堂保存会	平成3年の会の設立以来、霊水堂の日々の清掃活動はもとより、集落から霊水堂までの林道及び霊水堂から遣水観音山までの登山道、並びに霊水堂前の親水公園の草刈りや清掃活動を年数回実施している。 近年は、里山地域の活性化に取り組む市民団体と連携し、集落から遣水観音山までの登山道の整備や、都市農山村交流イベントの開催などの機会を通じて、交流人口の拡大により水環境の保全の重要性を啓発するなど、うるおいある水辺環境を保全している同会の功績は極めて大きいものである。
19	福井県	かみこうちのぶんかをかんがえるかい 上河内の文化を考える会	平成10年の発足から上河内町の三場坂清水周辺および地域の河川の清掃や、水源周辺の林道や山林の保全整備を続けている。 また、平成16年7月の福井豪雨により被災した桃源清水の復興に尽力し、平成19年に復興した桃源清水と三場坂清水は、平成20年2月に福井県の「ふくいのおいしい水」に認定された。さらに、清水の保全を広く市内外にPRするため、清水パンフレットの制作や清水を活用したイベントを実施するなど、地域の水環境保全に多大なる貢献をしている。
20	福井県	しょうのがわをうつくしくするかい 笙の川を美しくする会	平成6年7月設立以来、笙の川およびその周辺の環境保全、美化活動ならびに河川愛護思想の普及啓発活動を実施。 約400人の参加者による笙の川両岸堤防(延長2.4km)のごみ回収を年1回、笙の川沿いでの緑化活動(堤防上での植樹)を年1回(平成20年度はカンツバキ24本、アジサイ10本を植樹)実施している。また、河川愛護の意識高揚を訴えるポスターを年1回募集(平成20年度275作品)、展示するとともに、最優秀作品2点を看板化し、笙の川堤防に設置するなど、これらの活動を通して水環境保全の普及啓発に多大な貢献をしている。
21	岐阜県	しらかわちようじょうかそうえいせいかんりくみあい 白川町浄化槽衛生管理組合	水環境保全のため、浄化槽設置者が主体となって組合を設立運営し、浄化槽普及と維持管理に力を入れている。また、浄化槽の適正な維持管理や、河川環境の保全のために次のような活動を行っている。 ・組合報を発行し各戸に配布 ・環境セミナーを主催 ・浄化槽維持管理講習会の実施 ・放流水の継続的な定点監視 同組合の取り組みは、水環境の保全に取り組む者としての模範となるものであるとともに、水環境の保全に大きく貢献している。
22	愛知県	すいげんのさとのかい 水源の里の会	平成14年7月の会の設立以来、岩藤新池湿地という地域独自の貴重な水環境を保全するため、一貫して、継続的に美化活動や巡回活動等を行い、良好な湿地環境が現在まで維持されていることに対する功績は非常に大きい。 また、一般に向けた湿地公開にも積極的に関与し、地域に向けた水環境保全意識の高揚にも大きく貢献している。
23	愛知県	しんえがわじょうかたいさくとくべついいんかい 新江川浄化対策特別委員会	平成13年7月に会を設立して以来、地域河川の水質浄化を目的として清掃活動等に取り組んできた。最近では、護岸洗浄やカキ殻除去に取り組んでいる。 また、その活動成果は、会報の発行を通じて地域に公表され、一般家庭をはじめ町内小中学校、畜産業者、飲食店等の地域に向けた生活排水対策の啓発効果は非常に大きく、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
24	三重県	とくていひえいりかつどうほうじんきそさんせんごみのかい 特定非営利活動法人木曾三川ごみの会	河川上流部からの漂着ごみや流木等の回収処理により、ごみ、流木等の伊勢湾への流出をくい止めている。 ポイ捨てごみからレジャーごみ、不法投棄による粗大ごみなどの回収処理や河川堤防・河川敷のパトロールによる水環境保全に対する啓発効果は大きい。
25	滋賀県	たかやまちょうじちかい 高山町自治会	同自治会では、昔から区域内にある堂来清水について、周辺の除草作業や清掃活動等を実施し、清冽な湧水の保全に努めるほか、石碑や地蔵尊の清掃などの環境整備にも取り組み、景観などを含めた周辺環境の保全に大きく貢献している。 また、同会の活動は、堂来清水の平成の名水百選の選定にも大きな貢献をするなど、地域にとっての貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。
26	京都府	きょうとふりつあみのこうとうがっこう 京都府立網野高等学校	「鳴き砂」で全国的にも有名な琴引浜の環境保全のため、15年前から行われてきた「はだしのコンサート」において、当初から運営スタッフとして、砂浜での空き缶拾いなどの清掃活動等に参加してきた。また、平成9年1月のロシア・ナホトカ号の海難事故による重油流出による海岸汚染の際、除去作業に加わったことを契機として、毎年、クラス・学年・クラブなどを単位として、学校から近い八丁浜の海岸清掃を放課後やホームルームの時間に実施するなど、地域の水環境保全運動に多大な協力・貢献をしている。
27	大阪府	ねやがわさいせいわーくしよつぶ・ねやがわみずべくらぶ 寝屋川再生ワークショップ・ねや川水辺クラブ	平成14年1月の設立以来、河川清掃をはじめとする様々な水環境を保全する市民活動を、市民、行政と協働して展開し、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。 ・行政との協働による水辺の市民活動の展開による水資源保全活動の実施(河川清掃、生き物調査、小学校の総合学習との連携による啓発などの実施) ・寝屋川の再生及び支流等の再生活動を通じた水環境保全活動(「寝屋川再生プラン」の提案、水路と繋がったピオトープづくりなど) ・市民協働の維持管理・活用(ネットワーク会員と地元住民による護岸等の草刈り・清掃等の維持管理の実施等)
28	兵庫県	りばーくりーん・えこたんぎんこう リパークリーン・エコ炭銀行	平成15年の設立以来、竹炭を生成しての水質浄化をするだけでなく、原料である竹林の管理により、里山の再生・保全に取り組み、森・川・海の総合的観点から、地域全体の健全な水循環の再生に取り組んでいる。 また、生成した竹炭を、試験的に下水処理施設の排水路に設置し、河川本流に流入する処理水のBOD向上に取り組む、子ども達が安心して水遊びができる水辺の保全に取り組むなど、地域の水環境の保全のために精力的な活動を実施しており、水環境の保全に大きく貢献している。

番号	推薦者	名称等	主な功績
29	奈良県	かしはらしりつうねびちゅうがっこう 橿原市立畝傍中学校	同校は、平成9年度より環境学習を実施してきており、平成17年度からは、科学部が中心となって、飛鳥川の本流のホタル再生や魚の棲みやすい川づくりを目指し、原風景の回復を目的として、地元の人たちと河川美化活動を実施している。その後、ホタルビオトープを造成し、餌となるカワニナの捕食状況の観察を実施している。さらに、昨年からは、橿原市と協働して、水環境の発表事業に取り組んでおり、水環境保全に大きく貢献している。
30	鳥取県	さんのうだんちぢちかい 山王団地自治会	昭和48年1月に発足して以来、年5回、毎回120人程度の参加による湖山池湖畔の清掃活動を行い、同地域の水環境保全に大きな貢献をしている。併せて、湖山池に流入する河川にイカダを設置し、植物を植えて流入河川中の窒素及びリン等を吸収させて刈り取る取組により、富栄養化の防止を図り水質浄化に努めるとともに、視察に訪れる者に対して、現地で説明会を実施し、環境教育の一環として水環境保全の啓発に努めた功績は顕著である。
31	島根県	かみおだけれんごうぢちかい 上小竹連合自治会	昭和59年の会結成以来、「鷹入り滝」(平成の名水百選に選定)の周辺、遊歩道、川の清掃活動を実施。平成元年からは、毎年8月に「滝まつり」を開催し、その際、周辺の草刈り、清掃活動などを行い、地域の環境保全の普及啓発に多大な貢献をしてきた。
32	広島県	えいだがわかえるくらぶ 永田川カエル倶楽部	平成15年8月に発足し、地元の小中学生とともに永田川の清掃・草刈活動・生物調査・水質調査・流量観察等の活動を月1～2回程度行うなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。
33	香川県	おおみなかみのもりをまもるかい 大水上の森を守る会	小学生親子を中心としたホタル観察会、幼稚園生参加による生物観察会、夏休みの寺子屋教室による環境学習等の実施など、環境保全対策の必要性・重要性についての啓発活動を実施している。また、宮川付近での遊歩道の整備、草刈活動の実施など、地域における水環境保全・活用事業への協力を実施するなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。
34	愛媛県	わかみずぢちかい 若水自治会	「つづら淵」(平成の名水百選)の湧水は、古くから良質の水に恵まれていたが、周辺の都市化により環境が悪化した時期もあった。このため、昭和51年に地元自治会内に「つづら淵保存会」を発足させ、環境整備や清掃等の環境保全活動に取り組んできた。その結果、かつてのきれいな泉を取り戻すことができた。現在も、定期的に周辺の清掃等の環境保全活動に取り組んでおり、「つづら淵」は、地域にやすらぎを提供する憩いの場となっており、地域の貴重な水環境の保全に多大な貢献をしている。
35	愛媛県	れんじょうじがわをきれいにしたいかい 蓮乗寺川をきれいにしたい会	蓮乗寺川は、町内で一番密集した市街地を流れ、ごみも多く、異臭などもしていたが、会員が中心となり、周辺地域住民とともに月に1回から2回程度除草作業やごみ拾いなどを行い、河川環境の改善を図り、地域の水環境の保全に大きく貢献した。
36	長崎県	かわたなちょういのちとくらしをまもるかい 川棚町のちとくらしを守る会	昭和55年の会の設立以来、以下のような活動をとおして、水環境の保全に関し大きな貢献をした。 ・合成洗剤ではなく、環境に優しい石鹼の使用を呼びかける運動の実施 ・廃油石鹼づくり ・小学生児童との河川における水生生物調査、清掃活動の実施 など
37	熊本県	はなぞのこうくふじんかい 花園校区婦人会	昭和33年の会の設立以来、校区内にある立岡池周辺の環境保全活動(除草及び清掃等)を継続して行っている。平成7年からは、アクリルたわしの普及促進による生活排水浄化活動を行っている。具体的には、地域の小学校に環境学習として、アクリルたわしの作り方の指導や高齢者世帯へのアクリルたわしの配布を行うなど、生活排水浄化を働きかけ、地域の水環境保全に多大な貢献をした。
38	大分県	にほんかぶとがにをまもるかいおおいたしぶ 日本カブトガニを守る会大分支部	平成8年にカブトガニの保護と水環境の保全等を目的として「杵築市カブトガニを愛する会」として発足し、平成14年度に「日本カブトガニを守る会大分支部」となり全国有数の干潟に生息するカブトガニを守るとともに、水環境の保全のため、産卵場の清掃、幼生生息状況の調査、観察会、干潟の清掃等を行うとともに、各種の環境イベントにおいて啓発活動を実施するなど、水環境の保全に多大な貢献をしている。

【個人：12名】

番号	推薦者	名称等	主な功績
1	岩手県 さたけ くにひこ 佐竹 邦彦		平成15年から岩手県環境アドバイザーとして、専門である水生昆虫等の知識を用い小学校等への環境教育や後継者の育成等に長年にわたり取り組んでおり、昨年は、北上市立博物館の研究員として、地域の水環境を題材に「清水」を2年がかりで調査した結果をもととする企画展「北上市の清水物語」の開催に関わるなど、水の歴史・文化を通して、地域の水環境保全の普及啓発に多大な貢献をしている。
2	山形県 えびはら ひろし 海老原 博		平成14年から16年まで、高島町を対象とする生活排水対策を、町民と行政が一体となったモデル事業として取り組み、町民に対して河川浄化の取り組み方策を示すなど水質改善に大きな効果を挙げた。 平成16年度に現職に異動した後、管内にある毎年県内の汚れた河川第2位である沼川の水環境の改善の必要性を痛感し、関係者を交えて地域に根ざした住民参加型の水質改善プロジェクト検討に取り組み、平成18年度に新規事業として「沼川の水質改善モデル事業」を立ち上げた。 氏は、この事業の立案から実践まで主導的立場で関わり、沼川に流入する汚濁負荷量の調査を行い、水質汚濁の要因を解明するとともに、平成19年度には、住民、学校、企業及び行政等による「水辺で遊ぶ魚が棲む沼川を取り戻そう」をテーマにワークショップを開催し、参加者や市民からの提案を踏まえて、地域と行政が一体となって取り組む「沼川水環境改善行動指針」の策定に尽力するなど、水環境保全に大きく貢献している。
3	千葉県 おかもと りょういち 岡本 良一		昭和42年7月に養老川の汚濁、不法投棄物による河川環境破壊の状況を改善しようと有志が集まって結成された「養老川を美しくする会」(昭和47年4月名称変更「市原市川を美しくする会」)の発足当初よりのメンバーとして活躍するとともに、平成15年からは会長として、市原市内の河川美化活動の推進、啓発及び河川敷における河津桜の植樹などの活動を積極的に行うなど、地域の水環境保全運動に多大な貢献をしている。
4	神奈川県 すぎざき しげる 杉崎 茂		平成8年8月から、当時、神奈川県内で絶滅したとされるメダカの生息調査を小田原市内で実施。平成9年には、メダカ調査団を結成し、小田原市桑原・鬼柳地区のみに地域固有の遺伝子を持つメダカが野生の状態で生息することを確認。 これを契機に、平成9年8月、市民の力で貴重な小田原のメダカを守るため「市民メダカ会議」を立ち上げ、メダカの生息地の水環境保全に尽力するとともに、小中学生等が実施する環境学習では講師を務めるなど、広く水環境保全の普及啓発に貢献し、この会議の会長として、小田原のメダカの保護に取り組むなど、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
5	岐阜県 ながせ ひさみつ 永瀬 久光		県の水及び土壌に関する各種委員会、検討会において、環境・衛生に関する多くの助言をし、水環境、土壌・地下水環境の保全活動の推進に多大な功績があった。
6	滋賀県 にしかわ よしひろ 西川 嘉廣		水質浄化や生物の住処としてヨシは重要であり、ヨシ原の保全が必要であることを多くの人に啓発している。 また、ヨシ博物館を開館し、ヨシの歴史や使い道、そしてヨシ原の保全を訴えている。同館は、学校の学習会などによる生徒の受入も実施している。さらには、東近江水環境自治協議会の主要メンバーとして、ヨシ保全のために、ヨシ刈りイベントの開催やヨシの使い道についての研究などを行っており、水環境の保全に多大な貢献をしている。
7	大阪府 あらき ちえこ 荒木 チエ子		(社)大阪エイフボランティアネットワークの支部であり、地域の健康づくり、環境保全運動などを積極的に推進している高槻エイフボランティアネットワークの会員として、昭和60年4月から精力的に活動し、特に平成12年からは副会長として、指導的立場で各事業活動の企画運営に率先して取り組むなど、その活動は他の会員の規範となっている。 なかでも、同ネットワークの緑豊かな環境を守る取り組みを進める生活環境部会の中心的役割を担っており、平成2年より、「廃食用油のせっけんづくり」の参加型講習を実施しているが、氏は、講習の指導者の育成にあたり、毎回多くの市民の参加を得ており、地域の水環境の保全に大きな効果を与えている。 その他、部会として、市内清掃活動や市民の憩いの場でもある摂津峡での水質環境モニタリングにも積極的に取り組んでいる。 以上のように、同ネットワークの水環境保全活動のリーダーとして、地域の水環境の保全に多大な貢献をしている。
8	和歌山県 しみず しげき 清水 茂樹		(社)和歌山県浄化槽協会の理事として、環境衛生事業に活躍し、特に、浄化槽保守点検関係の技術的な向上、水環境保全の普及啓発並びに浄化槽業界の円滑化を推進し、多大な貢献をしている。
9	香川県 わたり かずひこ 亘 和彦		平成12年に結成された環境保全のボランティアグループ「一粒の種」の取りまとめ役として、ふるさとの水環境保全活動に取り組んできた。 特に、独学でホテルの幼虫の養殖と放流に組み込み、毎年、メンバーとともにボランティアを募り、河川・水路等の清掃を行うなど、ホテルの繁殖に適した美しい清流の維持に努めており、ホテルのシーズンには、各地から大勢の観光客が訪れるなど、賑わいの創出にも重要な役割を担うなど、地域の水環境の保全に大きく貢献している。
10	福岡県 くぼやま くにひこ 窪山 邦彦		遠賀川をきれいにするため清掃活動を実施している「I LOVE 遠賀川実行委員会」設立当初から事務局長として、活動を牽引してきた。 また、2002年に設立された「NPO法人遠賀川流域住民の会」の理事長として、川の啓発冊子を作成、配布するなど、流域自治体や住民団体の連携強化に尽力した。 2007年には、浄化槽の普及等に関するNPO等関係者による全国規模の「浄化槽フォーラム」が設立され、理事として、2009年1月に開催されたシンポジウムの推進役を果たした。 以上のとおり、各団体の役員を歴任し、積極的に河川浄化やその啓発に組み込み、水環境保全の推進に大きな貢献をした。
11	鹿児島県 やまの かずゆき 山野 一幸		昭和48年の入庁以来、退職まで一貫して環境行政に携わり、水環境行政においては、閉鎖性水域の富栄養化防止対策として重要な施策である昭和54年5月の「第一期鹿児島湾ブルー計画」及び昭和58年3月の「第一期池田湖水質環境管理計画」の策定に当たって、水質汚濁メカニズムの解明に果たした業績は特に顕著であり、水環境の保全に大きな貢献をした。
12	新潟市 おいかわ きくお 及川 紀久雄		多年にわたり市の公害対策審議会及び環境審議会の委員に就任し、河川・土壌中の「いわゆる環境ホルモン」の調査・対応、河川中のダイオキシン類の調査・対応、廃棄物埋立地周辺の地下水汚染の対応、護岸工事に伴う水環境保全対策などについて、学術的・専門的立場からの意見・助言等を通し、市の水・土壌環境保全行政の推進に貢献した功績は顕著である。